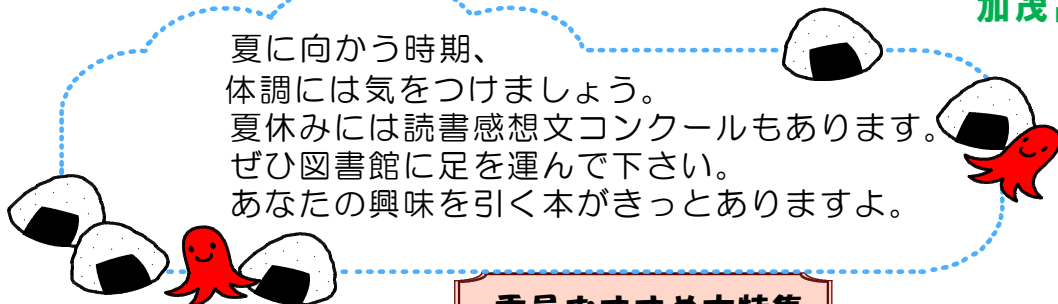


# らいぶらりい 6月号

R3年6月21日  
加茂高校 図書館  
図書委員会

夏に向かう時期、  
体調には気をつけましょう。  
夏休みには読書感想文コンクールもあります。  
ぜひ図書館に足を運んで下さい。  
あなたの興味を引く本がきっとありますよ。



## 委員おすすめ本特集

### 「君は月夜に光り輝く」 佐野徹夜著

高校生の主人公卓也のクラスには、不治の病「発光病」で入院したままの少女がいた。余命わずかな彼女に死ぬまでにしたいことがあると知り、それを実行する手伝いをするようになる。そうすることで止まっていた僕の時間も動き出すことになる……。この物語は、余命わずかなヒロインの一生懸命生きようとする姿に感動し、主人公の優しさに心があたたまる素敵な物語です。

### 「99の涙」 名取佐和子著

この小説は「なみだ」が出るようなお話が一冊に12コ入っています。切ない涙や感動する涙があって、どのお話も心があたたまります。一つの話が短いので、少しの時間に気軽に読むことができますので、ぜひ読んでみてください。

### 「きみの瞳が問いかけている」 沢木まひろ著

目が不自由だが明るく生きる明香里と罪を犯しキックボクサーとしての未来を絶たれた塁。二人は互いに惹かれあって幸せを手にした…ように見えたが、ある時、塁はある残酷な運命に気づいてしまう……。幸せだった二人の運命はどうなるのか……。相手のことを一番に想う姿に切なくも感動する話です。

### 「空の青さを知る人よ」 額賀 滯著

音楽が大好きな高校生あおいは音楽漬けの毎日をおくっていた。あおいに音楽の楽しさを教えてくれた慎之介がついに高校を卒業して帰ってくることを知り……。過去と現在をつなぐふしぎな恋が始まる。この話は、映画化されたこともあるので知っている人もいますが、とてもおもしろくて明るい気持ちになれる本です。

### 「三匹のおっさん」 有川 浩著

剣道の達人「キヨ」、居酒屋をしている柔道家「シゲ」、機械いじりの好きな工場経営者「ノリ」、この3人の還暦おっさんが街を守るために活躍する物語。娘や孫とも一緒に解決していくところがあるし、笑いもあります。心温まる話なので読んでみて下さい!!

「チア男子」 朝井 リョウ著

柔道をやめた幼なじみ2人の大学生が、大学チア初の男子チームを結成し、1人1人の気持ちとチームの成長の物語。個性的すぎるメンバーがそれぞれの事情があるなか、ひとつにまとまっていく様子が面白いので読んでみて下さい!!

「羊と鋼の森」 宮下 奈都著

ピアノの調律に魅了された1人の青年。ひたすら音と向き合い、先輩たちが双子の姉妹に囲まれながら調律の森に入っていく。彼が調律師として、人として成長する姿を書いた物語。ピアノに興味がある人はぜひ読んでみて下さい。

「幸福な食卓」 瀬尾 まいこ著

いろいろな問題を抱えている主人公佐和子と父母兄の4人の家族が、食卓を囲んだり、何気ないことで、救って、救われて……そんな温かい物語です。辛いシーンもありますが、家族のことを考えさせられる素敵な作品です。

「15歳のテロリスト」 松村 涼哉著

何年も議論されている少年法について、改めて考えさせられると同時に、正義とは何なのかと考えさせられる本です。今問題になっている少年犯罪や誹謗中傷などについて、取り上げられています。物語の展開がおもしろく、どんどん読み進められると思います。

「余命10年」 小坂 流加著

あと10年しか生きられないとしたら、あなたは何をしますか！ という文から始まります。もし、自分だったらどうするかを考えながら読むことで、主人公の気持ちや行動に共感しながら読めると思います。ぜひ、読んでみて下さい！

「あと少し、もう少し」 瀬尾 まいこ著

陸上部が、中学最後の駅伝大会にいろいろな試練を乗り越えながら挑む物語です。各区分ごとの選手の語りが入っていて。駅伝をやったことがある人なら共感できる部分や、すごいと思える部分があると思います。ぜひ読んでみて下さい。